

## セントマークス高校の訪問

今週、西オーストラリアのパース市北部にあるセントマークス高校から短期留学生が9日間（1/14～22）の予定で本校に滞在しています。正式名は、“St. Mark's Anglican Community School”です。幼稚園から高校まで併設された私立の学校で、今回は、ハーバート校長先生、リーマン先生（社会科）、デイビス先生（英語科）の3人の教員と、15人の生徒たちが訪問してくれました。

1996年、私が交換教員として西オーストラリア州に派遣されていた時に勤めていたオーシャンリーフ高校からすぐ近くのあるので、親近感が沸きます。また、ローカルな話や昔話もできるので、昔と今を比べることもできます。6～7年前にもパースへは訪問しましたが、この約20年間で西オーストラリアは生活水準も物価もかなり上がっています。例えば、カフェのコーヒーが250円程度だったのが、今は500円くらいするようです。

さて、セントマークスは土曜日に大阪に着き、ホテルで一泊した後、日曜日に明南でホ



ームステイの受け入れ家庭と対面し、各家庭に分かれていきました。先生方は、体調管理（昨日のパースは37℃でした）、ホームシックや文化的な誤解によるトラブル等を心配していましたが、今のところ、セントマークス高の一行は皆笑顔で学校に登校してきています。これも、各受け入れ家庭の方々の温かい協力のお陰と感謝しています。

月曜日（1/15）は、オリエンテーション、学校施設見学、授業に出席し、放課後は、部活動に参加した生徒もいました。授業では、選択授業「異文化理解」（ペアで文化や個人についてQ&A）、「電子商取引」（PCソフトを使ったペア学習）、調理実習（手巻き寿司）の授業に参加しました。当初、お互いが恥ずかしそうにしていたのですが、何とか交流の輪が広がっていている感じがします。放課後に、歓迎式典を体育館で行いましたが、生徒の皆さんには、この1週間は特に、国際交流に努めてほしいと思います。

